

## 認知症対応型共同生活介護 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

法人名	株式会社あつがる	事業所名	あつがるグループホーム姫路
所在地	姫路市神屋町5丁目48番地		



No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話あった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念は事務所や玄関相談コーナーへ掲示し、全職員が共有できるように努めています。			職員だけでなく家族様にも見ていただけるよう見えやすい位置に掲示するようにしていきます。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため行動制限に伴う、地域との交流などは積極的に参加することができなかったが、夏祭り等参加できたイベントもありました。	・事業所のある地域においてどのような活動が行われているかについて、地域の自治会に尋ねてみてはいかがでしょうか。コロナ禍後に何ができるかを事業所の全職員と一緒に考えてみてください。		2/12(日)地域との交流を深めるため神屋町3丁目集会場にて行われている認知症カフェへ参加しました。今後月1でGH利用者様も一緒に参加し、地域とのつながりを深めていきます。
3	運営推進会議を活かした取組	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため推進会議の開催は書面による報告も多かったが、開催した月の内容は管理者を中心に職員へ伝達をおこなっている。	・運営推進会議の内容について、少し検討されてみてはいかがでしょうか。ヒヤリハット報告や事故報告書、また虐待防止の取り組みなどを報告されている事業所さんがあると伺っています。		今後も推進会議を通して、外部からの意見を取り入れ、よりよいサービスが提供できるよう努めていきます。

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症サポーターの定期開催や研修会への参加など取り組んでいる。コロナ感染の状況なども報連相に努め、連携を図っている。	・利用者さんがコロナ陽性者となられた際には、介護保険課へ事故報告書など提出する仕組みができており、引き続き、介護保険課や保健所との連携を密にとつて欲しい。		包括やその他研修会等での連絡、連携を今後も密にとり、協力関係を築いていきます。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のミーティングや定例研修を実施し、日常支援の中で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のミーティングで引き続き職員全員に拘束ゼロの重要性を伝えていきます。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のミーティングや定例研修、社内の衛生委員会にてストレスチェックによる確認をし、職員間においても気軽に相談できる環境づくりを心がけている。		①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のミーティングで研修会等内部での取り組みを継続します。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定例研修を実施し、利用者様の権利擁護に関して学びの場を設け、ケアに努めている。			継続して取り組んでいく。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	①. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は施設長・ケアマネジャー2名で説明を行い、パンフレットや契約書・重要事項説明書を用い、ご家族様に分かりやすく説明するようにしている。			ご利用者様・ご家族様にご理解・納得していただけるよう丁寧に分かりやすい説明を心がけます。

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それを運営に反映させている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年利用者様のご家族様にアンケートを実施し、事業所の運営について満足度を把握し、ご家族様からの要望など職員へ周知することでサービスの向上に努めている。		⑤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も定期的にアンケートを実施し、サービス向上に努めていきます。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のミーティングで職員間の意見に耳を傾け、出た意見をまとめ、サービスに反映できるように努めている。			継続して取り組んでいく。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別面談を定期的に行い、個々の家庭状況や体調管理等、勤務の変更など働きやすい職場環境となるよう努めている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々での面談時間を設け、勤務状況の確認、その他要望等ないか慎重に話し合いをしていきます。
12	職員を育てる取組	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人統一の年間研修計画に沿って毎月実施している。新人職員においては外部研修への参加の呼びかけも行っている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の内部・外部研修だけでなく、117グループの研修への参加も促していきます。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡協議会に参加。お互いの空室状況の把握や、研修会への参加などサービスの質向上の取り組みをしている。			今後もグループホーム連絡協議会とのやり取りを密にとって情報共有していきます。

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様一人ひとりのADLに合わせた役割を提供し、穏やかに過ごせる集団生活の場、自立支援を大切にしている。			個々の能力を十分に発揮できるよう支援していきます。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響により、WEB面会の活用を継続しているが、利用者様、ご家族様の満足度を高めることがなかなかできなかった。	・ガラス越しやオンラインでの面会を予約制で実施されていることが伺えました。住み慣れた地域で社会との継続した交流を再開して欲しいです。		社会情勢をみながらにはなりますが、気分転換できる散歩や外出等制限緩和できるところはおこなっていきます。

## Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様・ご家族様からの情報を大切にし、日常生活の細かな気づきを大切にしている。			できる限り個々の本人の生活スタイルに合わせた暮らしに近づくよう支援していきます。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画に沿った支援の進捗状況を毎月のモニタリングで確認している。ミーティングでも利用者様に対する気づきを話しあい、ケアプランに落とし込みしている。	・利用者さんのあるべき姿を話し合うことで利用者さん寄り添った介護計画が作成されることが分かりました。 ・認知症の進行や本人の思いを把握しづらい方への確認をどのようになされているのでしょうか。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	継続して取り組んでいく。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録をカルテに記載し、職員間で情報共有している。状態の変化等があればケアマネジャーや他職種と連携を図り、介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態変化等、特変があれば細かく記載し、介護計画の見直しをおこなうにあたり必要なケアの実施をおこなっていきます。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループ間の連携を図り、リハビリや新たな訪問診療の導入など、柔軟なサービスの提供に繋がるように取り組んでいる。	・コロナ禍ではありますが、まだ社会資源を十分に活用できない状況ではありますが、社会情勢を注視しながら、事業所内だけでとどまらない支援を取り入れてもらいたいと思います。 ・訪問診療の充実から看取りへの取り組みにも今後期待が持てそうですね。		今後も筋力維持のため、理学療法士による集団リハビリや、グループ間でのイベントの参加、その他施設内でのイベントの充実化が図れるよう様々なところで情報・連携を図りながら柔軟なサービスを提供していきます。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響により、地域の資源を把握したり、活用する取り組みがあまりできなかった。	・コロナの社会情勢に注視しながら、事業所内での支援にとどまらない取り組みに期待したいです。 ・この機会に地域の社会資源の把握に努めて欲しいと思います。		コロナにより、地域資源の活用が減ってしまっているが、再開・活用できる地域資源を把握し、積極的に取り入れていけるよう努めます。

21	かかりつけ医の 受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた。かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にご本人やご家族様へ希望を聞き、適切な医療を受け入れられるよう支援している。また、訪問看護事業所との契約により安心した訪問看護を受けられる体制となっている。			ご利用者様・ご家族様の希望を常に尊重しています。内科や歯科だけでなく皮膚科も新たに訪問診療導入しています。今後も必要な時に受けられる安心な医療体制の構築に努めていきます。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院中の経過を地域連携室の担当者との連携を通して情報提供を受けている。また、早期退院のためカンファレンスに参加し、退院後の生活を踏まえた環境整備に努めている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院中の利用者様の状態を把握し、地域連携室と密に連絡を取り、情報共有します。早期退院に向け、施設として受け入れ体制を整えていきます。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時や重度化による状態変化の際、重度化や終末期の意向を家族様へ再度確認し、意向に沿った支援ができるよう主治医や訪看と連携しながら事業所での看取り介護に取り組んでいる。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時、その他状態変化に応じて終末期の要望を聞き、ご本人・ご家族の意向に沿った支援をしていきます。看取り介護の経験がないスタッフもいるため、外部講師による看取り研修への参加を促しスキルアップに繋がっています。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定例研修会にて実施。また、社内委員会によるAED使用方法などの講習会にも参加し、実践力を身に付けている。			急変時や事故対応等初期対応が重要になるため、常に職員の目の届くところへ連絡網、マニュアル等掲示し、発生時の備えとしている。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年4回の避難訓練を実施。水消火器を用いた実践的な初期消火の方法や水害時の避難体制の把握等災害対策に努めている。	・介護報酬改定に伴い、災害時におけるBCP(事業継続計画)の策定が義務付けられているので、経過措置期間があるが、法人全体での検討は進められているのでしょうか。	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護保険報酬改定に伴うBCP計画の策定に向けて、法人全体での検討をしていきます。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定例研修会にて実施。また、毎月のミーティングで認知症ケアに対する声かけのしかた等、不適切なケアになっていないか確認している。		A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症ケアをおこなう上で、言葉かけや対応が自尊心を傷つけないよう配慮しながらケアにあたるようにしている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様一人ひとりの性格や暮らし方に合わせ、その人らしさを大切に、無理強いせず、ご利用者様の希望に沿った支援が行えるように取り組んでいる。			安心して快適に過ごしていただけるような雰囲気の中での生活が円滑に行えるよう、ご利用者様との信頼関係を大切にしています。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	嗜好調査を定期的に行い、利用者様の希望に応じた食事が摂れるよう季節ものやテイクアウトを取り入れている。また、調理レクなども定期的におこない、一緒に作ることの楽しさを味わっていただいている。		A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感の味わえる食事の提供に努めています。調理レクの際は野菜の皮むき等おこなっていただいています。今後も食事を楽しむことができるよう工夫を凝らしながら支援していきます。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普通食だけでなく刻み食、ムース食など嚥下状態を見ながら、個々に合わせた食事形態を提供し、水分摂取が少ない方はお茶以外にも飲みやすいジュースやゼリーを取り入れるなど工夫し、栄養バランスを考えた支援をしている。			個々の嚥下状態に合わせ、安全に食事ができるように支援しています。低栄養の方にはエンシユア、補助食品など、主治医や家族様とも相談の上で、健康管理に努めています。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に歯科往診にて口腔内の確認をしていただき、必要に応じて治療している。また、利用者様個々に合わせた口腔ケア介助をおこなっている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯ブラシだけでなく、個々に合わせた対応（舌ブラシや口腔ティッシュ、口腔スポンジ等）を引き続き継続して取り組んでいきます。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様一人ひとりの排泄状況を把握し、トイレ誘導や声かけ等の支援を行っている。必要に応じ、医師の指示のもと緩下剤などの薬を使用し便秘予防に努めている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄状況の確認はもちろん、パットやおむつを少しでも少なくできるよう、早めのトイレ誘導、一人ひとりのパターンに応じてパットの当て方等工夫していきます。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節ごとに変わり湯をしたり入浴剤を入れるなど入浴を楽しめるように工夫している。また無理強いせず、利用者様の意思確認をしながら入浴支援を行っている。			リフト浴がないため、浴槽を跨げない利用者様はシャワー浴対応となっているが、リフト浴の導入検討中。もう少し入浴の充実化を図っていきたい。



33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調が優れない場合は、居室にて休んでもらったり、昼夜逆転にならないよう、日中は活動的に過ごせるよう支援している。また、一人ひとりの就寝リズムを把握し、安眠できるような声かけに努めている。			日中の活動を高め、また室内温度が快適で安眠できるよう工夫していきます。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当職員が薬の管理を行い、薬の内容把握、症状の変化の確認に努めている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内服薬変更等、しっかりと体調確認、バイタルの変動等薬後の変化を見守っていきます。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様個々に応じた情報収集を行い、趣味や嗜好など、本人らしさを活かした生活を送っていただいている。誕生日には誕生日会を開催したり、レク活動やドライブ外出など気分転換を図る取り組みも行っている。	・運営推進会議において、近況報告の内容を写真で見せていただくことで、事業所内で多くの行事に取り組まれていることがわかりました。これからも笑顔や元気を引き出すイベント行事を実施して欲しいです。		集団レクだけでなく個別レクの充実を図っていきます。また、季節感を味わっていただけるよう外出ドライブも月1回取り組んでいく予定です。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、日常的な外出支援はできていない。ただ、天気の良い日は近くの公園へ散歩に行くなど気分転換を図っている。	・日課の中で外気に触れる機会を作られてみてはいかがでしょうか。(例えば花の水やりや散歩など) ・季節のよい時期には継続した外気浴なども必要ではないでしょうか。		誕生日や家族様のお祝い事等にご本人も一緒に外出していただけるよう、車いすの手配、送り迎えの送迎等ご家族様の意向になるべく添える形で取り組んでいきます。

37	お金の所持や 使うことの支援	職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり、使えるように したりできるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ◎ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響 により買い物などで利 用者様がお金を使う機 会がなく、お金の管理 も難しい方が多いため 事業所で行っている。			金銭管理は事業所 で行っていますが、初詣 や外出先での支払い 場面等では職員がサ ポートしながらご本人 にお金を使ってもらえ るような取り組みを考 えています。
38	電話や手紙の 支援	家族や大切な人に本人自らが 電話をしたり、手紙をやり取り したりできるように支援をしている	A. 十分にできている ◎ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で面会ができ ない中で、事業所にか かってきた電話に取り 次ぎを行い、利用者 様・ご家族様双方に安 心していただくように支 援している。			電話での会話や手紙 を通して人と人とのつ ながりの大切さを感じ ていただけるよう今後 も支援していきます。
39	居心地のよい 共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体 機能やわかる力を活かして、安 全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している。 共用の空間が、利用者にとって 不快や混乱をまねくような刺激 がないように配慮し、生活感や 季節感を採り入れて、一人ひと りが居心地よく過ごせるような 工夫をしている	A. 十分にできている ◎ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関やユニット間にお いて季節に合わせた 創作物を利用者様と一 緒に製作し掲示してい る。また安心した空間 になるよう室温や照 明、テレビの音量など 不快に感じないような 環境整備に努めてい る。		A. 十分にできている ◎ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感を大切にし、安 心かつ快適に過ごして もらえる環境づくりを今 後も取り組んでいきま す。転倒しないような 配置等にも気を付けて 動線の確保をおこなっ ています。
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮ら し	本人は、自分の思い、願い、 日々の暮らし方の意向に沿っ た暮らしができています	A. 十分にできている ◎ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、自宅 へ帰りたいという意向 に沿えないことが多か ったが、利用者様一人 ひとりの思いを受け止 め、傾聴し安心して過 ごしていただけるような 支援を行っている。			家族に会いたいという 思いがコロナ禍により 繋がりが希薄化してし まいましたが、少しでも 希望の生活に近づけ ることができるよう個々 の思いを汲み取って支 援の実現に繋げていき ます。

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様やご家族様からの情報収集をはじめ、日々の暮らしの中での気づきを大切に、利用者様個々に応じた暮らし方ができるよう支援している。			ご本人の生活歴をもとに、その人らしい暮らしの習慣をできる限り続けていけるよう支援していきます。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康管理など安心した支援が受けられるよう主治医や訪看との連携を図りながら利用者様個々に応じた暮らしができるよう支援している。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護や主治医との連携を密にとり、日々の健康管理、緊急時の対応がスムーズにとれるよう体制を整えていきます。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の時間はある程度皆同じ時間での提供となっているが、その他利用者様のペースで生活していただけるよう支援している。			共同生活の中で、個々のペースに合わせることを見つけ、少しでも本人の暮らしの習慣にあった生活が長く続けられるよう支援していきます。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会等でご家族様が持ってきた写真や作品、また日頃から使い慣れたもの、ご利用者様の大切にしているものは自室にていつでも手に取れるように工夫している。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族様からのアルバムやプレゼント等はご本人様にお渡しする際に写真に残し、家族様にも反応はどうだったのか等見ていただけるよう家族様の気持ちにも寄り添いながら支援していきます。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、ご利用者様の外出の意向に沿えないことが多くありましたが、ガラス越し面会等でお孫さんの成人式の晴れ姿を見ていただいたり、催事の写真を持ってきていただいたり、その場の雰囲気味わっていただくことができました。	・社会情勢を見ながら、コロナ禍が収束した際には、利用者さんの思いに寄り添った外出支援や社会交流を実施して欲しい。		コロナが落ち着いてくれば、ボランティアや地域行事等に一緒に参加し、地域交流の充実を図っていきます。無理強いせず、ご本人の意向を最優先していきます。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様一人ひとりの持てる力を活かせるような場面を作り、レク活動など利用者様が自然と楽しめるような支援をしている。			個々の能力に合わせた役割をおこなっていただき、役割を果たすことで達成感や自身に繋げていきたいと思っています。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様同士のコミュニケーションなど交流が弾むよう職員が声かけを行い、いきいきとした生活ができることを探りながら支援している。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コミュニケーションが取りやすいテーブル配置、ソファでくつろいでいただける時間等自由に行き来していただく空間づくりにしています。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍によりご本人の近隣住民や地域の方々との交流する機会を設けることができない状況となっている。	・近隣住民や地域の方々との交流する機会を設けるほか、会うことだけではなくつながりも検討されてみてはいかがでしょうか。		認知症カフェや体操等地域行事の参加は今後継続して取り組んでいきます。

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍の影響が多く、8・9 月と事業所がコロナのクラスターになってしまい、ご利用者様、ご家族や地域の方々にもご心配をおかけする日々が多かったが、そのような中でも、「ここに居たら安心。いつもありがとう」等のお言葉をいただいている。施設内にて安心して本人らしい暮らしができるよう、より良いケアに努めている。</p>	<p>・コロナ禍において、地域の方々との交流は本当に難しかったと考えられます。  ・引き続き、顔馴染みの利用者さんや職員の皆さん同士で親しみや安心のできる生活を送ることができよう取り組んでいただけたらと思います。</p>	<p>A. 十分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍のなかで様々なことが制限されてしまい本来のグループホームらしさが薄れてしまふことも多くありましたが、家族様や地域の方々のご理解ご協力があったからこそ、ご利用者様には安心して過ごしていただけていると実感しています。これからも安心安全で温もりあるサービスの提供ができるようしっかりと努めていきます。</p>
----	----	---	--	---	--	--	--